

追悼 井上萬二展

秀麗なる磁器の世界

2025年

2026年

11月7日(金) ▼ 2月28日(土)

十八親和アートギャラリーでは、本年7月に逝去された井上萬二氏の追悼展を、11月7日から2026年2月28日まで陶磁器展示室2において開催いたします。

重要無形文化財「白磁」保持者である井上萬二氏は、比類なき技術と飽くなき探求心によって、長年にわたり現代工芸の世界において活躍しました。欧米をはじめとする諸外国で文化交流としての個展が開催されるなど、その作品は国内外で高い評価を得ています。また、アメリカ・ペンシルベニア州立大学、ニューメキシコ州立大学、佐賀大学での学生指導など後進の育成にも尽力し、多大な功績を遺しました。

本展では、当館が所蔵する《青白磁丸形壺》《染付栗鼠文額皿》《青白磁地紋彫鉢》《白磁彫文一輪生》など、初公開作品を含む12点の作品を展覧し、その功績を偲びます。

また、絵画展示室1と季節展示室では、秋季恒例企画「曝涼展」を11月7日から12月6日まで開催するほか、近代洋画、日本画、陶磁器、ロシアイコンなど約140点の常設展示も行っております。

※企画展の会期は、次回展の都合により変更する場合があります

染付蝶文蓋物▶



▲青白磁地紋彫鉢

井上 萬二(いのうえ・まんじ)1929~2025。佐賀県有田町の窯元に生まれたが、軍人を志して15歳で海軍予科練に進む。復員後、父親の勧めで柿右衛門窯に入門。十二代酒井田柿右衛門に磁器製法を、初代奥川忠右衛門にろくろ技術を学ぶ。1971年に井上萬二窯を開き、日本伝統工芸展などで発表を重ねたほか、文化交流としてドイツ、ハンガリー、モナコ、ポーランド、アメリカなどで個展を開催するなど国内外で活躍。1995年重要無形文化財「白磁」保持者(人間国宝)に認定。1997年紫綬褒章受章。2003年旭日中綬章受章。

十八親和アートギャラリー

鑑賞無料

【開館時間】10:00~16:00(入館は15:30まで)

【休館日】日・月・祝日、年末年始(12/30~1/4)

※土曜日が祝日の場合は開館



長崎県佐世保市島瀬町4-24 十八親和銀行島瀬ビル1F TEL.0956-23-4856 西肥バス島瀬町バス停から徒歩3分、JR佐世保駅から徒歩約20分